

様式2 (2) 資料1

2学年1組 道徳学習指導案

1. 主 題 自己を生かし輝く集団 4－(4) よりよい学校生活、集団生活の充実
2. 資料名 「明かりの下の燭台」(中学生の道徳2 自分を考える)
3. ね ら い 集団の中で自分の個性を生かし、一員としての役割と責任を果たそうとする道徳的実践意欲を育てる。
4. 人権教育の観点 3 (1) ア 市民意識の醸成
5. 指導過程

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1. 集団の中で自分が担った役割で思い出に残っているものは何か、その時どんな思いだったか発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員 ・教科係 ・部活動のキャプテン ・「トライやるウィーク」での役割 	○全員が様々な集団に属している、集団によって異なる役割を担っていることをおさえる。
展 開	<p>2. 教師の範読を聞き資料の確認をする。</p> <p>3. 自分の問題に置き換え、心の葛藤を心情円板を用いて示す。</p> <p>4. 鈴木さんの心の葛藤を捉える。</p> <p>5. 鈴木さんの心情について考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あなたが選手だったとして、もし、鈴木さんのようにマネージャーを打診されたらどうするだろうか。マネージャーとして頑張れるだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・選手にこだわる。どうしてもだめなら辞める。 ・監督の考えに従い、マネージャーとして頑張る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>泣きながら、長いあいだじっとすわって考えていたことは何だったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・選手としてチームに入ってきたのに、悔しい。 ・なぜ自分だけそんなことを言われるのか。 ・選手にこだわりたい。どうしてもだめなら辞めようか。 ・監督の考えに従い、マネージャーとして頑張る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>苦労とは思わなかったのはなぜか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・選手を支えているという責任感。 ・チームに貢献しているという喜びや充実感。 ・チームが強くなっていくうれしさや達成感。 ・チームが勝つために自分の力が役立っているという誇り。 	<p>○自分のこととして考えるため、「頑張れる」「頑張れない(絶対選手・やめる)」の度合いを心情円板を用いて全員に示させる。</p> <p>○鈴木さんが選手として活躍したいと強く思っていたことを理解させる。</p> <p>○マネージャーという役割を自己犠牲ではなく、チームの一員として自己の役割だと受け止めたことに気づかせる。(誇り高いひとりの女性として、自らを育て上げた。)</p>
終 末	6. 内容を振り返り、感じたこと学んだことと、今後集団のために自分がどういう姿勢で物事に取り組んでいくべきかを書き発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールや部活動で自分の役割に責任を持ってがんばりたい。 ・自分にとっては、難しいことや、嫌なことでも頑張ろうという気持ちを持ちたい。 	○今後、自分が集団の一員として責任を果たすことの大切さについて考えを深めさせる。

